

INTERVIEW WITH PROFESSOR LEE'S STUDENT

アルジュン シャルマ

李教授の学びのサポート方法について



私たち Q チームは、新型コロナウイルスの流行に伴い、対面授業からオンライン授業に移行したことで、ゼミを履修しようとする2年生や3年生がゼミの先生を選ぶことや、先生と学生を繋ぐことは今までも非常に難しくなっていると感じています。このプロジェクトでは、ゼミの教員と学生の両方の視点に注目し、ゼミについての基本的な情報やゼミ選びにおいて参考になる情報をリレー形式でお伝えしたいと思います。

インタビュー記事では、APUの教授2名（APS教授、APM教授）とそのゼミ、そして各ゼミ生の声をお届けします。学生の意見も取り入れることで先生方の教授法などを知っていただくだけでなく、実際にゼミを受講されている学生の意見も知っていただきたいと思います。

I. 基本情報

1. あなたの名前、出身国、学部、専攻を紹介してください。
私はアルジュン・シャルマです。インドで生まれ、日本で育ちました。国際経営学部（APM）でマーケティングを専攻しています。

2. ゼミはいつから受講していますか？
李先生のゼミは3セメスター前から受講しています。

II. ゼミ申請前の準備について

3. ゼミの教員として李先生を選んだ理由を教えてください。

コロナが流行している際、私は李先生の授業をたくさん取りました。先生のエネルギーのおかげで、その日一日がほんの少し良いものになっています。ですから私は考える間もなく、李先生のゼミを選択しました。私はマーケティングに興味があったので、決断するのは簡単でした。

4. ゼミの担当教員との面接のために、どんな準備をすれば良いでしょうか？

李先生は、3年生の選考に現役ゼミ生を積極的に参加させるので、その経験から、まずやる気を優先していることに気づきました。「頭がいい」ことではなく、「努力する」ことが大切なのです。李先生の面接や新ゼミ生の選考をお手伝いする際には、私はコミュニケーション能力や情報発信力をはじめ、学生の主体的な行動力や組織力、集中力、チームワークの良さを見ています。

5. あなたが普段、セミナーに関するお勧め情報を探るときに使っている情報源は何ですか？

先輩にどのゼミに入ったらいかが相談したら、APUのゼミ事情についてかなり詳しく教えてくれました。それ以外にも、ウェブ上に掲載されているそのゼミのシラバスを見たりもしました。



2022年春李教授とゼミ生たち

III. セミナー内容

6. これまでの李先生のセミナーで最も興味深かったことは何ですか？

最も興味深かったのは、企業とのコラボレーションです。私たちの場合、酒造メーカーの三和酒類と一緒に仕事をしています。彼らからの「自分たちの商品をどのように販売したらいいと思うか？」という問いに対し、マーケティング戦略を立て、2週間に一度、グループとしてプレゼンテーションを行いました。実際に企業と一緒に仕事をすることは、これまでやったことがない経験でしたし、実際の企業の中がどうなっているのを見ることができました。つまり、座学だけでなく、実際にそこで働く人たちがどのような問題で苦労しているのを知ることができました。

7. ゼミの課題量についてどう思いますか？

課題量はまあまあといったところです。多くはグループワークですが、大変というより、むしろマーケティングの知識を実践的に使えるセミナーの内容なので、魅力的で楽しいです。具体的には、YouTubeやFacebook、TikTokなどのソーシャルメディアチャンネルを立ち上げて何かをプロモーションするミニプロジェクト、実

際にコラボレーションしている企業へのマーケティング戦略の提案、そして最後に卒論を書く人は卒論の3つがこのゼミの主な課題となっています。

8. 研究テーマはどのように決めているのですか？

もともと書きたいことはなんとなく決まっていたので、特に難しくはありませんでした。私たちのゼミでは、だいたいみんな興味のあるテーマを持っていて、自分が何をしたいのかがわかっています。李先生はいつでも相談にのってくれ、「自分の好きなようにやりなさい」と励ましてくれます。このようなスタイルも、私が先生を心から尊敬するところです。

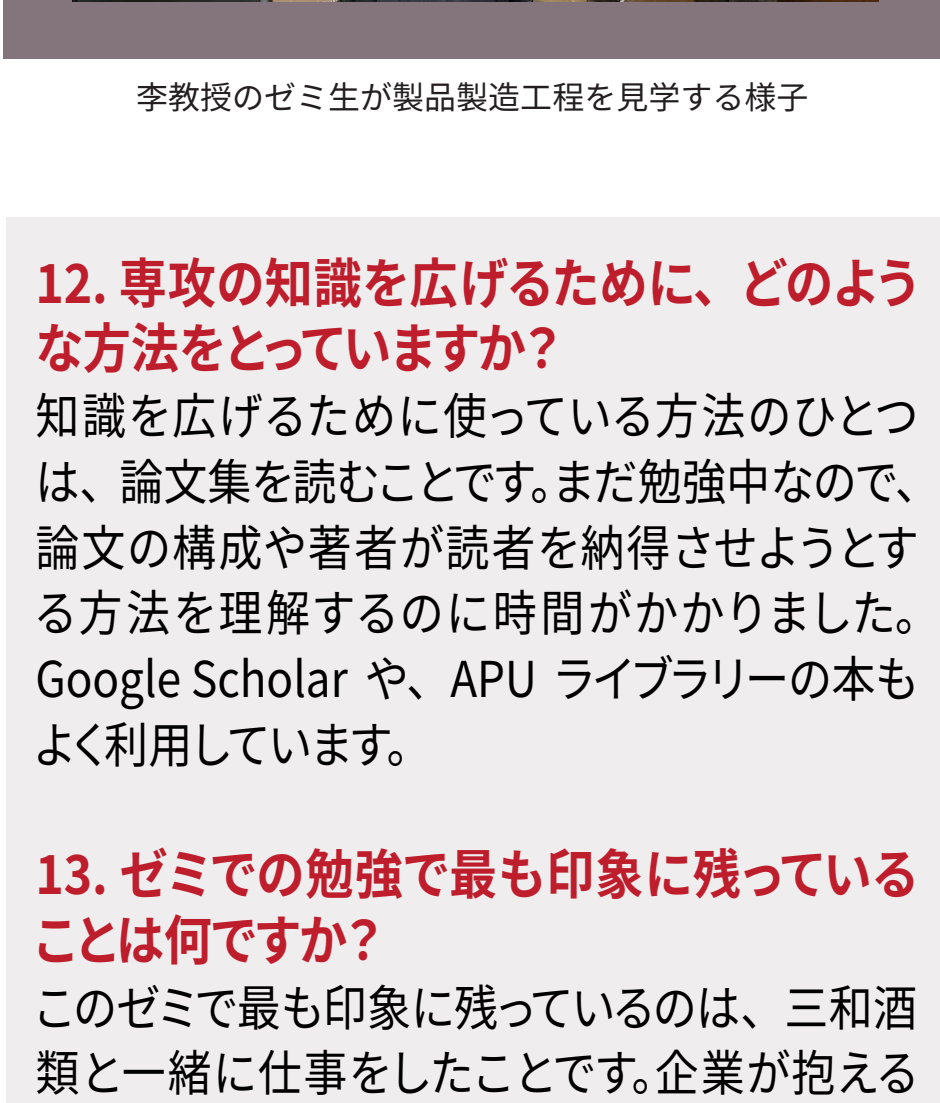
9. ゼミの授業を受ける利点を3つ、一言で答えると？

私のゼミの利点は、(1) 実際の企業で働くという体験ができること、(2) 李先生が常に議論に参加するように促してくれるので、魅力的な環境にあること、(3) 仕事を通じて自立心を養うことができることです。

10. 以下の文面を完成させてください。私がゼミを選んだのは、李先生の親しむのは、アクティブラーニングの課題、エネルギーにあふれた授業スタイルが好きだからです。

11. 日常生活で、ゼミの研究に関連することは何ですか？

卒論のテーマが仮想通貨という、新しく、かなりニッチなテーマなので、毎朝仮想通貨に関するポッドキャストを聴くようになりました。また、大分で小さな会社を経営しており、広告の仕事も多くしています。李先生のゼミでの勉強は、仕事と人のコミュニケーション、そしてプロフェッショナルな仕事、特にマーケティングの基礎作りの面で、本当に役に立っています。



李教授のゼミ生が製品製造工程を見学する様子



企業のセミナーに参加する学生たちの様子

12. 専攻の知識を広げるために、どのような方法をとっていますか？

知識を広げるために使っている方法のひとつは、論文集を読むことです。まだ勉強中なので、論文の構成や著者が読者を納得させようとする方法を理解するのに時間がかかりました。Google Scholarや、APUライブラリーの本もよく利用しています。

13. ゼミでの勉強で最も印象に残っていることは何ですか？

このゼミで最も印象に残っているのは、三和酒類と一緒に仕事をすることです。企業を抱える問題を聞き、その問題に対するマーケティング戦略を立てたり、工場に行って会社の理解を深めたり、お酒を飲んだりしました。楽しかったですし、自分たちの仕事を理解することができました。この経験で、サービスレベルではわからない、効果的なコミュニケーションの取り方、問題の捉え方などを学ぶことができました。

IV. セミナーでの交流

14. ゼミでは、個人で作業しますが、それともグループで作業しますか？

3回生ゼミではグループワークで議論を重ね、最終的にはリーダーがまとめていましたが、4回生ゼミでは個々に卒業論文に取り組んでいます。

15. ゼミの雰囲気を一語で表すと？

ゼミの雰囲気は、課題などが適切に課され、心安らげる場であり、自分の意見や考えを共有することができます。



ゼミの食事会の様子

V. ゼミ申請を考えている学生へのアドバイス

16. 今学期、ゼミの授業を受けようとする学生へのアドバイスをお願いします。

これまでお伝えしてきたことから、事前に李先生の授業を受けることをお勧めします！絶対に後悔することはありません。

17. ゼミは3回生次と4回生次のどちらがおすすめですか？

3回生から入れることをおすすめします。ゼミに入るのが早ければ早いほど、より良い経験ができます。3回生になると、バイラルマーケティングの勉強など、ゼミの内容を楽しむ時間が多くなります。

18. ゼミに対するよくある誤解は？

ゼミの授業では、教員から与えられた課題をた

くさんこなさなければならない、というのが学生たちが抱く最も一般的な誤解です。実際には、3回生次のミニプロジェクトや卒論のテーマなど、自分たちでやりたいことを選択することが推奨されています。李先生の授業では、学生は常に声を上げ、議論に参加し、自分が何を研究したいのかを考えるよう奨励されており、学生自身がゼミでの経験をデザインする大きな役割を担っているのです。

19. あなたのゼミでの経験をキーワードで表すと？

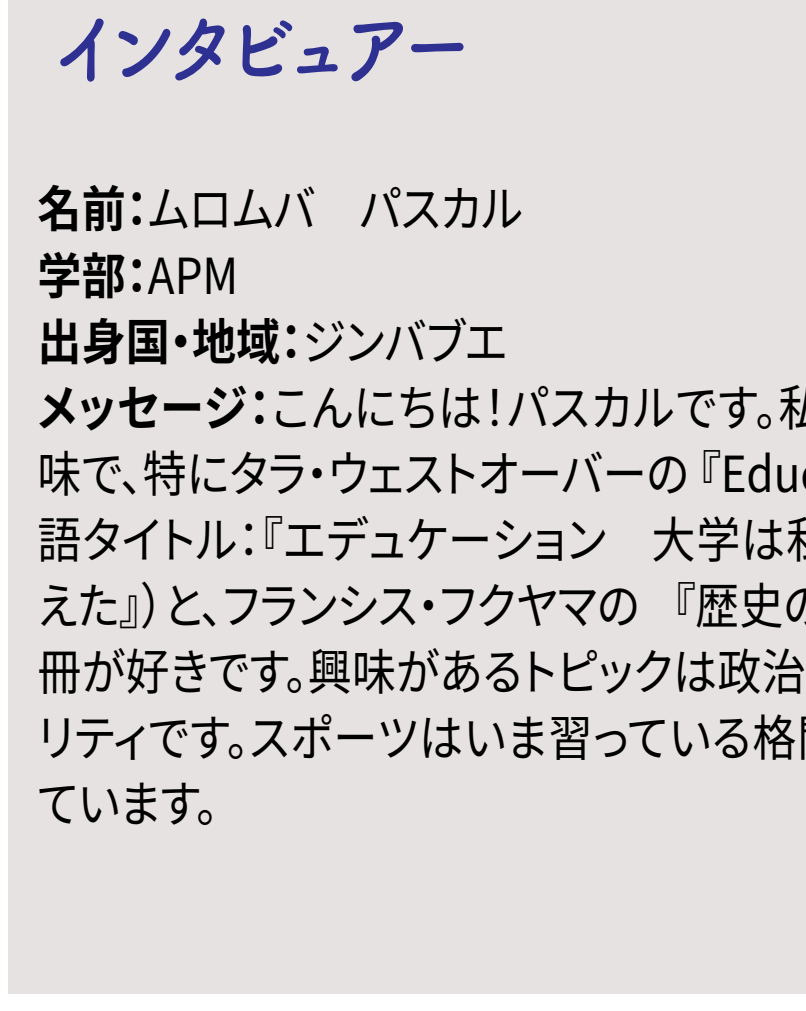
私の経験を表すキーワードは、以下の通りです。環境(魅力的でインタラクティブ)、自由と個性(常に全力で課題に取り組むことが奨励される)、エネルギー(李先生を通して)、自己成長、マネジメント(組織化することを学ぶ)です。



インタビューの感想

アルジュンのインタビューを通して、李先生のゼミ生へのサポートが印象に残りました。学生が積極的に学ぶ環境を作るだけでなく、学生が最大限に成長できるような素晴らしいネットワークや情報を提供してくれます。また、学生が学びたいことを柔軟に選択し、その決断を最大限にサポートする彼の指導スタイルも気に入っています。彼のセミナーは、間違いなくマーケティングを学ぶすべての学生にお勧めです。

インタビューアー & ライター



名前:ムロムバ バスカル
学部:APM
出身国・地域:ジンバブエ

メッセージ: こんにちは!バスカルです。私は読書が趣味で、特にタラ・ウェストオバーの『Educated』(日本語タイトル:『エデュケーション 大学は私の人生を変えた』)と、フランス・フクヤマの『歴史の終わりの』2冊が好きです。興味があるトピックは政治とサステナビリティです。スポーツはいま習っている格闘技はまっています。



翻訳:野瀬ひかる

「Q」とは

APUで素晴らしい授業を行っている先生方はたくさんいらっしゃいますが、先生方が授業中にどのような工夫をしているのかわかることが出来れば、他の先生にも良い改善も役立つ。そのために、インタビューを通して、授業の先生方の授業の質向上の「Quality=質」を高める、質を高めるための「Question=問」に答える、授業改善の「Queue=列」をなす、など、色々な意味を込めて「Q」と名付けました。先生方の授業の質向上の「Quest」に役立てられると幸いです。